

—真っ白な雲と青い空 蝉時雨の中 冷や麦をつるり—

新暦と同様、旧暦でも7月は七夕の月です。旧暦7月のことを「文月」と呼ぶのは、七夕行事にちなみ、短冊に詩歌などの文を書き、書道の上達を祈ったことに由来するとされています。また、稲穂が大きく育つ頃なので、「含月」が「ふみづき」に転じたともいわれています。

【七夕】——7月7日頃（旧暦7月7日）——

七夕は、7月7日の夜に天の川を渡って年に一度だけ会うことを許された牽牛星と織女星の星伝説から生まれた行事です。この日の夜は、笹竹に願い事を書いた五色の短冊や飾り物をつるし、軒端などに飾る星祭りとして知られています。

7月の四字熟語 【盈盈一水】

愛する人に会うことのできない苦しみをいう。互いに思いながら、会ったり言葉を交わしたりできないたとえ。牽牛と織女が天の川に隔てられ、会うことができないという七夕伝説に基づく。

7月の本「三軒茶屋星座館」 柴崎竜人／著

都会の路地裏にあるプラネタリウム「三軒茶屋星座館」。その店主・和真のもとへ、十年ぶりに弟の創馬がおしかけてきた。小学生の娘、月子を連れて……。

星座館で語られる超現代語訳”ギリシャ神話”が人の絆をつくり、仲間を家族に変えていく。声をあげて笑い、本気で泣ける、心温まるエンターテインメント小説。



発行：講談社 場所：ティーンズコーナー（W 7/11）

参考文献：「絵でつづるやさしい暮らし歳時記」日本文芸社

「新明解四字熟語辞典 第二版」三省堂

2023年 teen's 季節のカレンダー

7月